



事業番号	080201	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	観光産業受入環境向上事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
		実施期間	H25 ～	E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	観光消費額				
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				

## 1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> 多様化する観光客のニーズに対応するため、観光事業者を始め、農商工業事業者やNPO団体、地域住民や行政など、域内の事業関係者等が連携し合い、観光人材の確保や地域が一体となって地域資源を最大限に活かした観光地域づくりを推進する必要がある。 <b>【これまでの取組】</b> 信州おもてなし未来塾、おもてなしマイスターサミット、ユニバーサルツーリズム推進会議、実務人材養成講座の開催、観光地でのインターンシップの取組支援等	
	<b>課 題</b> おもてなしマイスターの認知度が低い、マイスター同士や地域との連携が不十分で活動が広がらない ユニバーサルツーリズムでは6割超が健常者と同様にアクティビティの体験を希望 他業種に比べ季節や外的要因に影響を受けやすいビジネスモデルの課題がコロナの影響で顕在化	<b>今後の方向性</b> 活動紹介、マイスターサミットによる情報発信、認知度向上 実務人材の養成、プログラム開発、商品造成の支援 新しい生活様式や旅行者ニーズの変化に対応した観光人材の確保と新たなビジネスモデルの構築及び生産性の向上
令和2年度点検結果 ・ 現状分析		

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<b>おもてなしを牽引するリーダーの養成、おもてなしマイスターの活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>信州おもてなし未来塾(第VII期の開催)</li> <li>おもてなしマイスターの取組活性化につながるマイスターサミットを開催 等</li> </ul>	 <p>(信州おもてなし未来塾)</p>
	<b>ユニバーサルツーリズムによる観光地域づくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>信州大学と共同で実務人材養成講座を開講</li> <li>信州大学と共同で学習旅行モデルコースの実証実験</li> <li>商品造成に向けた旅行会社の招へい 等</li> </ul>	 <p>(ユニバーサルツーリズムによる観光地域づくり)</p>
	<b>観光業におけるビジネスモデル改革の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症や災害等の外的要因にも耐え得るビジネスモデルの考え方や手法を習得する講座の開催</li> <li>ビジネスモデル改革の実践をサポートするコーディネーターの配置等</li> </ul>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	信州おもてなしマイスター養成数(累積)	150名	151名	↑	176名		↑	200名	35,981	21,848	要求 19,608 予算案 11,208
2	ユニバーサルツーリズム専門人材数(累積)	-	11名	↑	28名		↑	43名	0	0	
3	宿泊業、飲食サービス業就業者数(各年末)	62,616人	68,085人	↑	(調査中) R3.3見込			70,000人	35,981	21,848	要求 19,608 予算案 11,208
4								うち一般財源	20,667	10,869	要求 9,859 予算案 8,379
5								決算額(B)	28,319		
							職員数(人)	5.4	4.6	4.6	
成果指標設定理由	①県内の各業界・各地域のおもてなし向上を牽引するリーダーとなる「信州おもてなしマイスター」の養成がおもてなし満足度の向上等につながるため指標に設定(実績値等に基づき設定) ②専門人材の養成が県内でのユニバーサルツーリズムによる誘客促進につながるため指標に設定 ③観光業における就業促進、生産性向上への取組が観光産業での人材確保、就業者数の増加につながるため成果指標に設定[基準値56,550人(H29.12末毎月勤労統計)の5年後(R4年)目標値73,515人(基準値の1.3倍)を元に算出]										
予算要求からの 主な変更点	観光業リゾートテレキャンパス促進事業について、事業の優先度を考慮し、計上を見送り										

事業名	観光産業受入環境向上事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	観光おもてなし推進事業	4,202 千円	1,735 千円	要求 1,608 予算案 1,608 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	信州おもてなし未来塾(第VII期)の開催	直接	おもてなし向上を牽引するリーダーを養成するため、「信州おもてなし未来塾(第VII期)」を開催。【受講定員数40名】
2	おもてなしマイスターの活用	直接	各地域でおもてなしマイスター同士が連携した取組を進め、情報発信を行うことで認知度向上を図り、地域の応援隊として活躍してもらう ・おもてなしマイスターの情報発信 ・おもてなしマイスターサミットの開催

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	ユニバーサルツーリズム推進事業	9,664 千円	2,860 千円	要求 2,860 予算案 2,860 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	実務人材養成講座の開催	負担金	信州大学と共同で、宿泊等観光事業者、養護学校教諭等を対象に、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識と専門機材を高度な技術で運用し、包括的な指導ができる人材を育成
2	モデルコースの実証実験	負担金	信州大学と共同で、県内特別支援学校等と連携した学習旅行の実証実験を実施。学習旅行商品プログラムの作成につなげ、誘客強化を図る
3	商品造成に向けた旅行会社の招へい	負担金	旅行会社を招へいして県内モデルコースの紹介・体験してもらい、商品造成を支援

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	「信州の食」ブランド価値向上事業	3,072 千円	3,082 千円	要求 996 予算案 996 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	信州感動健康料理アカデミーの開講	委託	信州らしい食の提供をすることにより、感動的な食体験を求めて本県を訪れる人を増やし、観光消費額を増加させるため、地域生産者と実需者による意見交換や現地交流会を内容とする信州感動健康料理アカデミーを開講

事業番号 08 02 01 事業改善シート（令和3年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	観光産業受入環境向上事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	観光業就業促進・生産性向上対策事業	17,084 千円	14,171 千円	要求 14,144 予算案 5,744 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	観光業ビジネスモデル改革実践事業	委託	Afterコロナ時代における新たなビジネスモデル改革を実践する事業者を支援 ・感染症や災害等の外的要因にも耐え得るビジネスモデルを習得する講座の開催 ・業務改善、事業承継、職場の多様性等を関係機関と連携してサポートする「観光業ビジネスモデル改革コーディネーター」の配置 等
2	「観光業就業促進・生産性向上協議会」構築事業	直接	行政と観光事業者が連携して、観光業の人材確保、働き方改革、生産性向上等に関する情報発信や具体的取組を推進